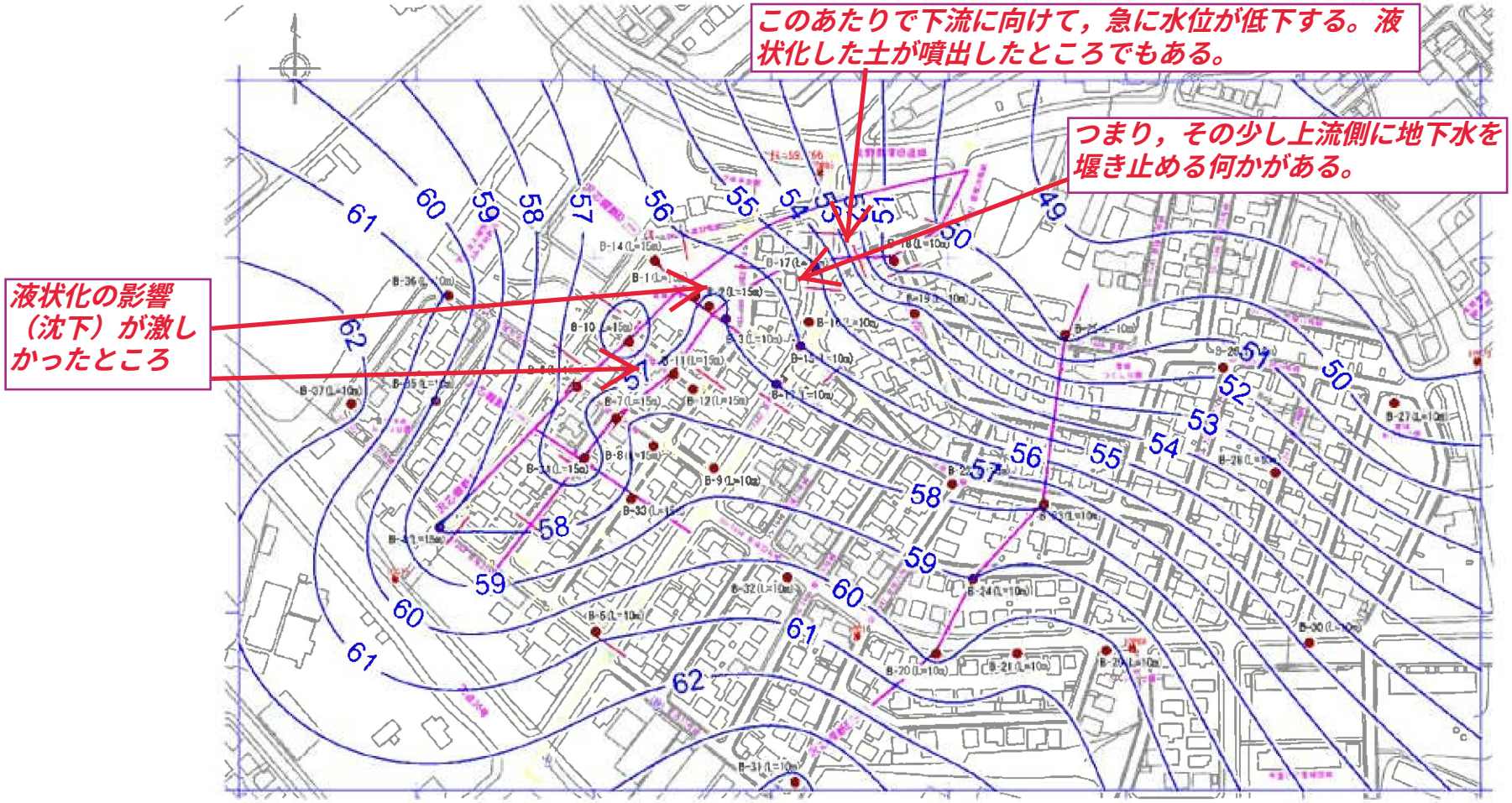
2．指摘いただいた事項への対応

③水位観測箇所の追加



◆地下水位標高コンター図のとおり、当該地は旧地形（沢地形）に沿って集水されている状況が伺える。

◆水位観測孔については具体的な対策工が確定した段階で、効果的な配置を検討し増設を計画する。

建築士の必要知識：kenchikuchishiki.com
この資料の出展：札幌市ＨＰ「地震被害対策」→「清田区里塚地区」→「第２回技術検討会資料」ＰＤＦのＰ６
このページ内のこの色(紅)の記述は建築士の必要知識作者の加筆である。